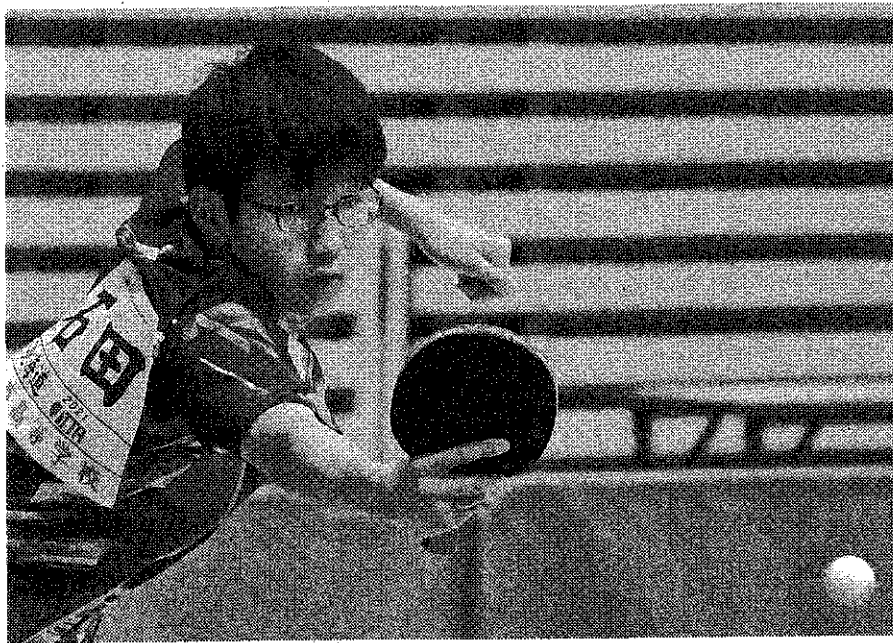


石田選手 高体連卓球で善戦

白糠高から唯一「レベルアップ」目指す

【白糠】高校体育連盟釧根支部主催の第73回北海道高校卓球選手権釧根支部予選会（17～19日、釧路市）に白糠高校からは唯一、石田遥希選手（1年）が出場した。男子シングルス2回戦で敗退するも、同校の名前を背負って戦い抜いた。

（會田俊美）



高体連の舞台。唯一の白糠高校からの参加者となった石田選手

石田選手は2006年2月10日生まれで、身長165センチ、体重55キロ。ラケットは地元元少年団で始め、以降は少年団に身を置きながら続けている。今回は唯一の出場。同校には卓球部はないが、少年団で研さんを積み技術向上に努め、教諭が引率し出場がなかった。

男子シングルス2回戦では福岡改選手（釧湖陵3年）と対戦。2学年上の選手を相手に第1ゲームは互角に渡り合うも、経験の差などで8―11で落とす。続く第

2、第3ゲームでは相手が優位性を保って試合を展開したが、時折逆襲に成功。意地を見せるも0―3で敗れ、高体連初勝利にはならなかった。

初の高体連について「やっぱりもっと練習が必要だと感じた。中学校時代と比べるとレベルが違う」と感想を話し「いつかは白糠高校で団体戦にも出てみたい」とも語った。今後の目標については「中学生の頃の最高成績は3回戦まで。高校ではこれ以上を目指したい」と闘志を燃やした。